

IMAGINE
THE
FUTURE.

附属大塚 学校だより

本校は、世界最高水準の知的障害教育を目指します。

大塚オリパラデー2018 ～教室の窓から②～

国際オリンピック委員会（IOC）が定める6月23日のオリンピックデーにちなんで、本校のオリパラ教育の一環として「大塚オリパラデー」を開催しました。本校は、オリパラ教育の目標として、①生涯を通じたスポーツ、②多様な価値観、③他者への敬意の3つを掲げ、関連した内容を活動として計画しています。実施にあたっては、合同朝会の時間を拡大し、今年も4回のオリパラデーを企画しています。

第1回目では、はじめに「みんなで踊ろうNIPPON！ヤーレンソーランロック」の曲に合わせて日本を代表する踊りを体験しました。続いてクイズに答えよう「なるほど・ザ・ワールド」と題して、ただいま開催中のサッカーW杯に関連したクイズ（「ミライの体育館™」活用）や、サッカーのシュート体験をして楽しみました。

子ども達が毎回楽しみにしている「オリパラ給食」メニューは、ポーランド料理でした。サッカーW杯予選で日本が対戦したポーランドの選手が日頃食べている料理をみんなで味わいました。ポーランドの代表的な「グヤーシュ」というシチュー、「コフレット」というポークカツレットなどを食べました。

2020年に東京オリンピック開催が決定する以前から国際理解教育に力を入れている附属学校群ですが、本校では、JICAはじめ、多くの海外からの研修生が訪れる機会に他国の文化を学び、交流を深めてきました。東京開催が決定した2013年以降、本校では、知的障害教育における「オリンピック・パラリンピック教育」の実践を先導し、これまでも多くのオリンピック、パラリンピアンと交流を行なってきました。今年度も9月、11月、1月に企画が続きます。

本校の「オリパラ教育」は、全校合同で行う集会活動として位置付けています。幼児児童生徒が単に活動に参加するだけでなく、「集団への参加と運営」という視点から、会の進行や運営を上級学部の生徒が担い、それぞれの役割に応じて活動するように計画しています。

高等部では、運営に限らず、ダンスのモデルを示したり、楽器を配ったりするなど、積極的に下学年の幼児児童生徒に対して支援するよう指導しています。こうした全校行事の機会も「キャリア学習」の一つとして捉え、将来の働く力につなげています。



その先の将来に向かって ～キャリア学習の扉①

「キャリア発達」という言葉を知っていますか？高等部では、平成28年度より「ライフキャリア学習」という新しい学習に取り組んでいます。特別支援学校（知的障害）の中学部と高等部では、「作業学習」という授業が教育課程に位置付けられています。「作業学習」は、将来の働く生活を見据えて、一人一人に応じた社会的・職業的自立に向けて必要となる資質や能力などを身につける学習です。

本校の高等部では、そうした「働く生活」に向けた学習に加えて、自分らしい生き方とは何かについて考えながら、将来の「夢」や「願い」の実現に向けた目標を考えること（「自ら考えてプランする力」）、日々の生活や現場での実習から自分を振り返ったりするなかで課題を解決する力（「課題に向かう力」）、さらには目標に向かって努力する姿勢（「主体的に活動に向かう力」）を身につけるための学習を行っています。

このような、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方の実現に向けて成長する過程を「キャリア発達」といいます。本校は、知的障害のある子供達が学ぶ学校だからこそ、自らの意思で人生を選択し、働くことに精一杯向かったり、楽しんだりする生活を実現できる社会人になってほしいと願っています。そのための支援を全力で行います。

「役割を果たすこと」、「自分らしい生き方を見つけること」、それがキャリア学習だとしたら、それは、高等部だけの教育ではありませんね。ある卒業生の保護者がこんな話をしてくれました。「幼稚園の頃から1年に一つずつ家の手伝いを増やしていきました。」家の手伝いは、立派な家庭の「役割」です。食器の片付けや洗い、テーブル拭きやフキン洗い、たくさんのお手伝いができることは、将来の「働く生活」に必ず役立っていきます。本校でも幼稚部や小学部段階からたくさんの「役割」を設定しています。どんな役割がお子さんの「今とこれから」の生活を豊かにするかにについて担任と話してください。

高等部＝働くための準備学習、そんな誤解をしていませんか？いえいえ違います。今、様々な力（強さ、良さ）を持っているお子さんが、「素敵な高校生」として「自分らしさ」を見つけて生活する姿をイメージしながら、一日一日を大切にお子さんと向き合っていきましょう。

次回「障害者雇用率制度」や卒後の進路先について紹介します。



新たに地域と連携した取り組みを始めた高等部。牛坂下の老人ホームでの出張カフェの様子。



東京キャンパスでは、教室清掃や大学図書館の仕事をこなしています。



健康カードを保健室に届ける中学生。1人で任された仕事は、自信に繋がります。そして、他者から褒められ、認められる経験の積み重ねが、自尊感情の育ちを支えます。



朝の「あつまり」の司会をする小学生。合理的配慮によって、全ての児童に役割の機会を保障しています。こうした集団活動での役割が、主体性の育ちを支えます。

生徒会による資源回収のお知らせ



本校では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、オリンピック・パラリンピック学習に取り組んでいます（以下、オリ・パラ学習）。オリ・パラ学習には、「する」「見る」「作る」「支える」と言った柱があります。高等部の生徒会では、「支える」を取り上げて、「自分たちでもできるボランティア活動は何か」について考えました。そして、すぐに始められることとして「ペットボトルキャップの回収」と「回収ステーションや、区役所リサイクル清掃課への提出」に取り組むことを考えました。ペットボトルキャップは、約2キロ（約860個）でポリオワクチン1人分相当の20円になります。沢山集めて、生徒会執行部が回収ステーションへ提出します。ライフキャリア学習の牛乳パック回収とあわせて、ご協力のほどよろしくお願いします！



7月19日（木）は防犯訓練を行います

2001年に発生した大阪教育大学附属池田小学校殺傷事件以降、学校における防犯対策が強化され、全国の学校で不審者対応の防犯訓練やセーフティ教室が行われるようになりました。本校では、不審者が門扉から侵入し、教室等への入構を想定した防犯訓練を実施しています。発見者の初期対応、校内への連絡と幼児児童生徒の安全確保、警察通報、さすまたによる誘導から警察引き渡しに至る訓練などを行います。訓練では、不審者を刺激しない誘導の仕方、不審者の見極め方、刃物やバットなどを振り回した際のさすまたの使い方など、緊張感を持って取り組んでいます。中高生向けには、見知らぬ人からの声かけにどう応じるか、大声を出して助けを求めることができるかなど、富坂警察署生活安全課の方々に指導していただいています。来週は富坂警察署管内にある学校を対象に「緊急連絡会議」が開催され、本校も出席いたします。今後も学校での幼児児童生徒の安全については、警察と連携して対応していきます。

7月の予定



- 1日（日）開校記念日
- 2日（月）学校説明会（中高）
- 3日（火）学校説明会（幼小）
個人面談（幼）～11日
ライフキャリア学習（高）
1班：老人ホーム「洛和ヴィラ文京春日」出張カフェ
- 4日（水）にここ広場⑤（幼）
ライフキャリア学習（高）
1班：東京キャンパス（教室清掃，図書館業務補助）
- 5日（木）校外学習③（中）
ザ・ペニンシュラ東京（テーブルマナー講座）
- 6日（金）授業研究日（小高）
学校休業日（幼中）
小学部「生活」高等部「ライフキャリア学習」
- 7日（土）公開講座（社会性音楽①：幼小）
- 9日（月）キッズニア職員研修①（小）
桐親会放課後支援
- 10日（火）キッズニア職員研修②（小）
英会話（中）ALT
発育測定スマイル（中）
- 11日（水）発育測定スマイル（高）
ライフキャリア学習（高）
1班：東京キャンパス（教室清掃，図書館業務補助）
- 12日（木）黒姫高原共同生活説明会
附属学校職員見学実習
- 13日（金）給食終了 PTA研修会
- 17日（火）附属高校交流会（中）
- 18日（水）親子観劇（小：プーク人形劇団）
中国北京市健翔学校視察
- 19日（木）防犯訓練・防犯教室
- 20日（金）終業式
- 21日（土）公開講座（社会性音楽②：幼小）
- 26日（木）27日（金）
附属坂戸高校交流会（高）
- 29日（日）～31日（火）
黒姫高原共同生活
（附属学校群による交流：小6と中2が参加）

